

ROTARY CONNECTS THE WORLD

ロータリーが世界をつなぐ

2019～20年度年度

国際ロータリー会長 Mark・D・Maloney



東京麹町ロータリークラブ

本日の例会プログラム

第9回例会 2019.9.30(#2250) 会場: AZALEA

例会ホスト・紹介係 吉田君 会費係 杉本君

受付係 秋山君 福田君

司会者 藤田君 ソングリーダー 崎山君

卓話 「空手～オリンピックへの道のりと今後の課題」

世界空手連盟事務総長 奈藏 稔久氏

紹介者 佐藤会員

前回の報告

第8回例会 2019.9.9(#2249) 会場: 鳳凰東の間

例会ホスト・紹介係 新保君 会費係 加賀君

受付係 時園君 吉田君

司会者 藤田君 ソングリーダー 崎山君

卓話 「R財団奨学生として」

R財団奨学生 戸田 祐太氏

紹介者 佐藤会員

会長報告

- 1) 今日、重陽の節句です。健康でいきいきと、ロータリーライフを楽しみましょう。
- 2) ロータリー財団の補助金によりロンドンへ留学する、戸田さんと、米山奨学生の劉さんが出席です。戸田さんには、留学生として、また医師としてのお話をして頂くことになっております。
- 3) 10月22日には、即位礼正殿の儀が執り行われます。その為、前日の10月21日は、ホテルへの入出が制限されることを見込まれますので、急遽、例会をおやすみにいたします。10月は7日の例会は10日に紀尾井町RCとの合同例会となります。14日は体育の日、と休会が続きますが、よろしく願いいたします。

幹事報告

- 1) 今期の地区大会は、沖縄開催です。航空券は、そろそろ予約可能です。クラブとしては、親睦旅行も兼ねますので、参加についてのアンケートをお配りしました。回答をおねがい致します
- 2) 会長の挨拶でも触れましたが、ガバナー公式訪問は、紀尾井町RCと合同で開催されますので、7日(月)の例会はございません。10日(木)の開催です。10日はガバナー公式訪問となり、各委員長は、11:20からのクラブ協議会に必ずご出席下さい。
- 3) 藤田会員の名簿用のシールの内容に不備がございました。本日配布のものにお差し替え下さい。

例会記録

会員総数 45名	出席会員数 28名
ゲスト 0名	その他 3名
ビジター 3名	事務局 2名
海外ビジター0名	出席率 62.22%

8月26日 Make-up 後の
出席率 75.22%

【今週のMU状況】

乳井・若林会員(9/10 地区青少年会議)
須藤会員(9/17 東江戸川RC)
金田会員(9/20 東京西RC)
佐藤・荒川・浅野・須藤・若林・吉田会員
(パリ、ヌサドゥアRC 視察)



9月13日 KRG ゴルフ親睦会
(戸塚GCにて)
新保会員が優勝!!



次回予告

第10回例会 2019.10.10(木)

会場: 麗の間

- ☆紀尾井町RCとの合同例会となります。
- ☆各委員長・役員は、11:20からのクラブ協議会に必ずご出席下さい。例会は12:30～

卓話 「ガバナー訪問基調講演」
新本博司第2580地区ガバナー

10月7日の例会はございません

「新朝鮮通信使を考える」～江戸時代の朝鮮通信使から学ぶ日韓友好～

元米山奨学生 魏聖銓氏 (6/6 卓話)



1 米山ロータリークラブ麹町との出会い

1999年の奨学生になった時の後見人の新保さんとのご縁が現在も続いている。

奨学生の期間が終わってからも、修士論文のアドバイスをいただいたり、博士号授与時にも特別に報告会を開いていただいたりした。

また、『NEW!韓国語&会話』(右文書院)、『韓国と日本くらべて学ぶ中級韓国語』(朝日出版社)の拙著が刊行されたときにも月例会に招待していただいた。

米山ロータリークラブ麹町の皆さん、中村さんと新保さんとの出会いがあったからこそ現在日本で日韓友好のための仕事ができ、とてもありがたいと思う。

2 朝鮮通信使と日韓交流史の概略

① 学習院大学で言語学の中でも言葉を比較する「意味論」を専攻し、日本語日本文学博士を取得してから、ここ数年は「日韓交流史」の勉強を重ねている。一見すると「意味論」と歴史にウェイトを置いている「日韓交流史」は関連性が薄い印象だが、朝鮮通信使の研究に欠かすことのできない「崩し字を翻刻」、「江戸時代の古文書の解説」、「漢詩および漢文の解説」、さらに「日韓・韓日翻訳」など両方は関連性がある。

② 東京在住27年目の私は、生活の中で「日本と韓国の文化の違い」、「日本人と韓国人の価値観や考え方の類似点・相違点」に興味を持っていた。もっと正確に言うと私は常に「日韓友好」を思っていたからかもしれない。

日韓交流史を勉強しようとしたきっかけの一例を挙げると、最近、新聞やマスコミで、決まって「日韓関係が良くない中…」というフレーズがどこからでも聞こえているが、このフレーズは私が来日した27年前にも同じだった。このような一連のことは政治やマスコミの戦略的なもので、この体制は両国間で変わることなく長年続いている。しかし、両国の民衆では、文化面、経済面などにおいて2000年前から変わらず友好的であることを一人でも多くの人に知ってもらいたく「日韓交流史」の研究に取り組んだのである。以下では「朝鮮通信使」について見てみたい。

3 朝鮮通信使について

「朝鮮通信使」は朝鮮王朝が派遣した使節団で、江戸時代1607年から1811年まで朝鮮から12回にわたり日本の江戸まで来た外交使節団をいう。ソウルから江戸まで片道約2200km、朝鮮通信使は8カ月から長くは1年近くかけて歩き、往復4400kmの道のりを歩いた。

文禄・慶長の役(1592.5～1598.12)のあと8年も経ていない厳しい状況下で、家康と松雲大師と宗義智は何度も対話を重ね、通信使の派遣が実現できた。

1607年からの朝鮮通信使(回答兼刷還使)は文禄慶長の役の戦後処理を目的とした外交使節団としての機能も担っていた。家康は、東アジアの平和を重んじ、命をかけて来聘(らいへい)に応じ、日本に来た最初の使節を鎌倉、駿河湾遊覧に誘い、ねぎらったものである。中国、オランダのような通商だけではなく、「信(よしみ)を通わず」使節団、すなわち両国の善隣関係を象徴する通信使は徳川将軍が代わる度に来日したが、外交目的だけではなく、使行録などに一般庶民まで一丸となって朝鮮通信使を迎えた民衆の様子も垣間見られ、200年間も近隣の国同士が平和であったことは「世界の平和に貢献できる」意義深い歴史である。

その朝鮮通信使は、正使、副使、従事官の三使と第1級の学者、医者、画家が加わる総勢370～500人の文化交流も重んじた大使節団だった。対馬藩がこの使節団の案内役となり、日本全国を練り歩くわけだが、多いときには警護や御馳走役などを合わせると2000人から3000人くらいの大規模の行列が各地を歩いたのだから、国を挙げてのビックイベントだったに違いない。

4 朝鮮通信使の精神とも言える「誠信」を強調した雨森芳洲



雨森芳洲(1668-1755) 滋賀県長浜市高月町に生まれる。

元京都大学の上田正昭氏が雨森芳洲を「湖北出自の先覚者」と表現したように、江戸時代の誇れる儒学者、教育者(韓語司/通詞)を育成に力を入れていた、日朝外交に大いに貢献した外交官である。

朝鮮通信使の8回目と9回目の時には、真文役として随行していて、朝鮮人との詩文唱和などの記録が多く残っている。朝鮮側の使行録にも雨森芳洲の名は多く見られる。

雨森芳洲が61歳の時に書いた「交隣提醒」の中に、朝鮮通信使の精神とも言える「～誠信と申候ハ実意を申事ニて、互ニ不欺不爭真実を以て交り候を誠信とは申候」(互いに欺かず争わず、真実を以て交わる)という一文があるが、「誠信」という言葉を強調している。日本人でありながら、300年前に日朝外交及び日朝貿易を中立的に且つ客観的に述べているところは当時の新井白石の国際的感覚よりも優れていたと言える。

雨森芳洲に関連する書籍の中多く見られる「国際化」、「多文化共生」、「相互理解」という言葉は、今現在にも共通するものである。

5 新朝鮮通信使と日韓友好について(韓国人からの目線から)

①新朝鮮通信使について

2017年10月31日に、日韓の民間団体の申請によって「ユネスコ世界記憶遺産」に登録された朝鮮通信使は、今後どのような活動をしていくのかが注目されている。

そこで、登場するのが、「新朝鮮通信使」!

「新朝鮮通信使」とは、室町時代、江戸時代にあった「朝鮮時代の通信使」の精神を学び、現代に日韓交流に生かせることを目的とする使節団を言う。例えば、「NPO 法人縁地連絡協議会(日本)」、「プサン文化財団」、「朝鮮通信使縁故地協議会(韓国)」、「ソウルから東京友情ウォーク」(2006年から始まり、2019年現在まで活動を続けている)、などの団体を中心に、各地で全国大会、シンポジウム、朝鮮通信使再現行列などのイベントをサポートし、朝鮮通信使関連行事を積極的に広報し、サポートしている。

そのほかにも静岡県の「NPO 法人 AYU ドリーム」、国際交流基金などの活動の中には日韓の大学生同士の交流を盛んに行っている。

② 朝鮮通信使の継承のために

イ. フィールドワーク(現場主義)を今後も続ける: 研究だけではなく、日韓友好に関心を持っている仲間と人的ネットワークを作っていく。日韓友好のための活動は韓国だけではなく、日本と二人三脚で共にやらないと意味がない。このようなことを出会う人々に伝えていきたい。

ロ. 静岡の宿場踏査を出発点としてソウルから日本のゆかりの地をこれからも丹念に辿り、通信使を広め、日韓の仲間と日韓友好の活動を続けていきたい。

ハ. 朝鮮通信使の調査で景勝地を辿って思ったことは、

保存・管理をして、後世に継承して下さった先学者に恥じのないように継承していけるように努力していく。歴史の中で「人」と「道(東海道など)」はキーワードであるということを改めて学んだ。

③どのように日韓友好の活動を展開していくか

イ. フィールドワークの中心になるのは、「日本の中の朝鮮文化を調べる」、「平和な時代を築いた朝鮮通信使の資料を探し求めている」、「韓国と日本の文化の研究」、「日韓友好に関心を持っている仲間と人的ネットワーク作り」などである。

ロ. ライフワークのキーワード: 「日韓友好」、「善隣友好」、「多文化共生」、「相互理解」、「子供の笑顔を大切に作る社会作り」である。このような活動に少しでも役立てるように勉強を重ねていきたい。

ハ. このような講演会や大学の授業で、客観的で偏らない日韓の関係を随時紹介していく。

(1) 講演活動: 講演の中で紹介された場所を訪れたり、食べ物や郷土料理を食べたりしている。

1 外国人のための韓国語を教えている韓国語教師のための講演・講座

2 韓国語スピーチ大会の審査委員

3 朝鮮通信使関連の講演会

4 東京、静岡、名古屋、京都に跨っている東海道五十三次に関する講演

5 「K-POP と韓国語」についての講演

6 韓国の文化や日韓の異文化コミュニケーションについての講演

(2) 韓流ブームが続く中、大学生が小学校から独学で韓国語を勉強していて、大学の第2外国語として興味をもってもらえるように、若者に善隣友好の歴史も楽しく触れるようにアレンジして行きたい。

〈近年主な講演会〉

1. 2018年3月25日 長浜市高月町講演会 ユネスコ「世界の記憶」登録記念講演会

題名: 「朝鮮通信使の未来 —日本・韓国の風景—」

2. 2018.7.25 13:00-16:00 長野県韓国総合教育院 講演会

題名: 日本人学習者のための韓国語授業の一例 —学生と交わって一緒に学ぶ—

3. 2019.6.19 14:30-16:00 徳川みらい学会第2回講演会 「朝鮮通信使講演会」

題名: 「静岡と朝鮮通信使の一考察」

場所: 静岡県男女共同参画センターあざれあ 6F ホール

4. 2019.8.23 実業之日本社 ブルーガイドカルチャー講演会

『K ポップ・ファンのための韓国語かんたん講座・初級編』
講師/ウィ・ソンジュン(魏聖銓)・康熙奉(カン・ヒボン)

東京麹町ロータリークラブ

設立	1968年6月17日	〒102-0093
例会日	月曜日 12:30	千代田区平河町 1-3-8
例会場	ホテル・ニューオータニ	平河町プラザ 204 号
		TEL:03-3263-9220
会長	佐藤 茂	FAX:03-3263-9122
幹事	荒川 和幸	e-mail office@koujimachi-rc.jp
会報委員長	植芝 守央	URL: www.koujimachi-rc.jp